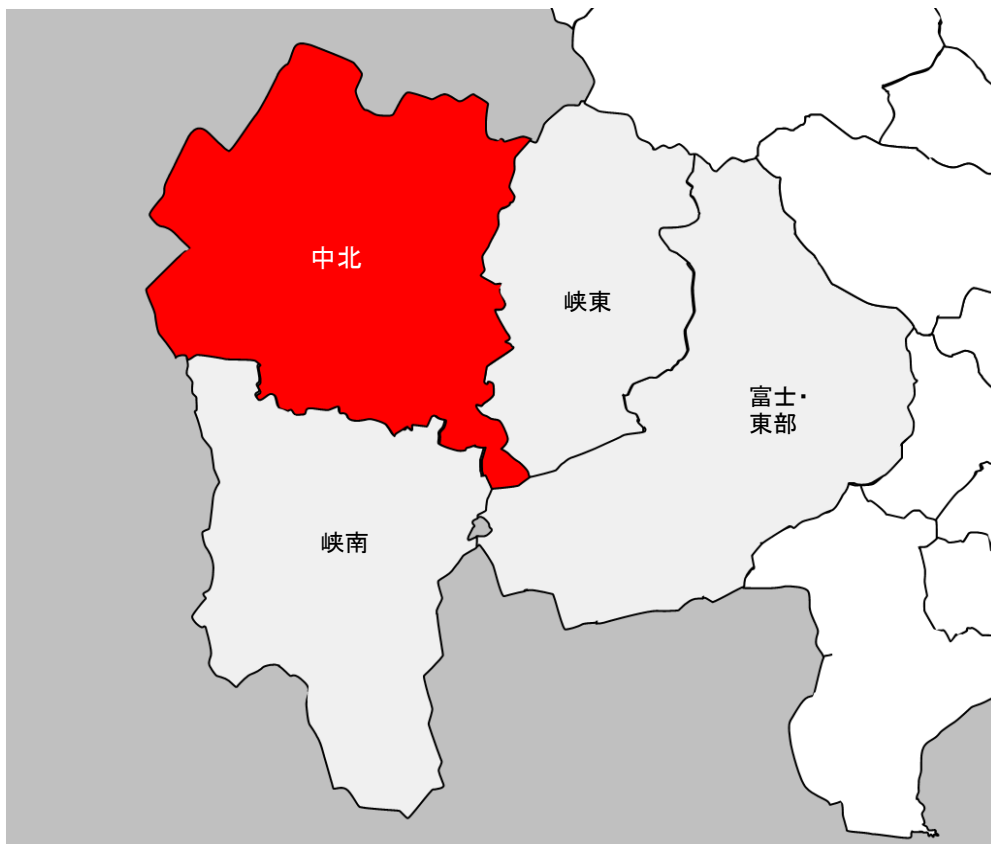


19. 山梨県

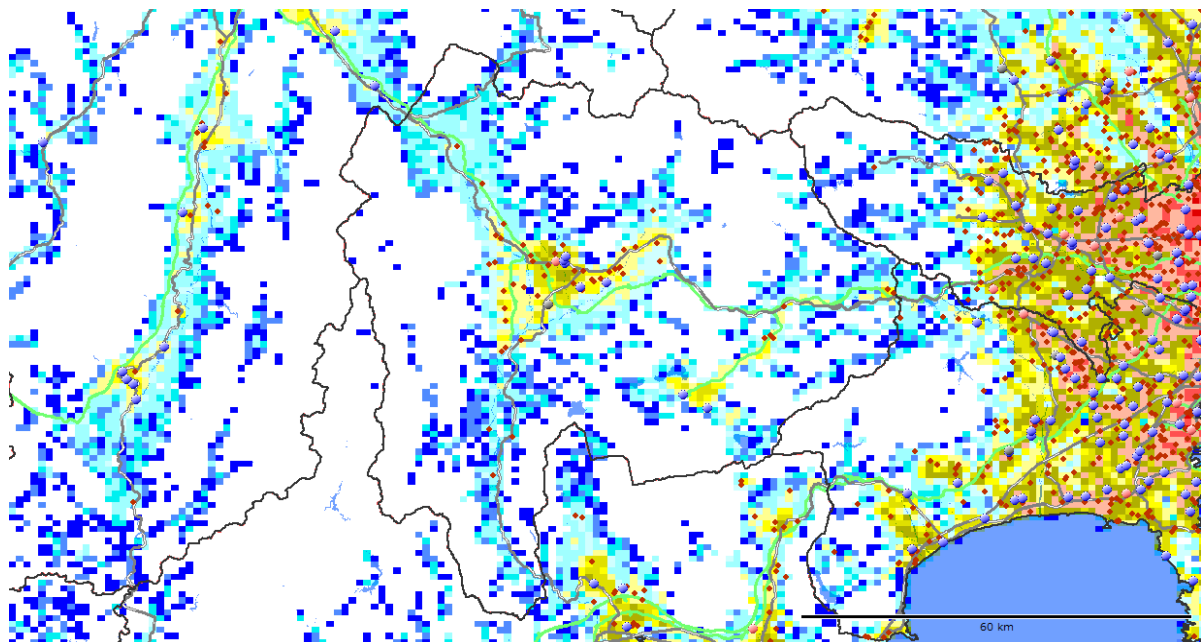


目次

山梨県	19	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	19	-	8
1. 中北医療圏	19	-	20
2. 峡東医療圏	19	-	25
3. 峡南医療圏	19	-	30
4. 富士・東部医療圏	19	-	35

19. 山梨県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

（山梨県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 山梨県は、総人口約838千人（2015年推計）、面積4461km²、人口密度は188人/km²である。

***人口の将来予測：** 山梨県の総人口は2025年に776千人へと減少し（2015年比-7%）、2040年に666千人へと減少する（2025年比-14%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の121千人が、2025年にかけて149千人へと増加し（2015年比+23%）、2040年には155千人へと増加する（2025年比+4%）ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 山梨県の一人当たり医療費（国保）は304千円（偏差値46）、介護給付費は259千円（偏差値51）であり、医療費はやや低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 山梨県の一人当たり急性期医療密度指数²は0.99、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.04で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が48（病院医師数49、診療所医師数47）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値61と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 山梨県の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、9639人（75歳以上1000人当たりの偏差値38）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が7058床（偏差値49）、高齢者住宅等が2581床（偏差値38）である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、8484人（75歳以上1000人当たりの偏差値45）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム41、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム41、サ高住46である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員（在宅）の合計は、1119人（75歳以上1000人当たりの偏差値42）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-50%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

山梨県の総人口は、2005年884515人が、2015年に837525人と5%減少し、2025年の人口が775908人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

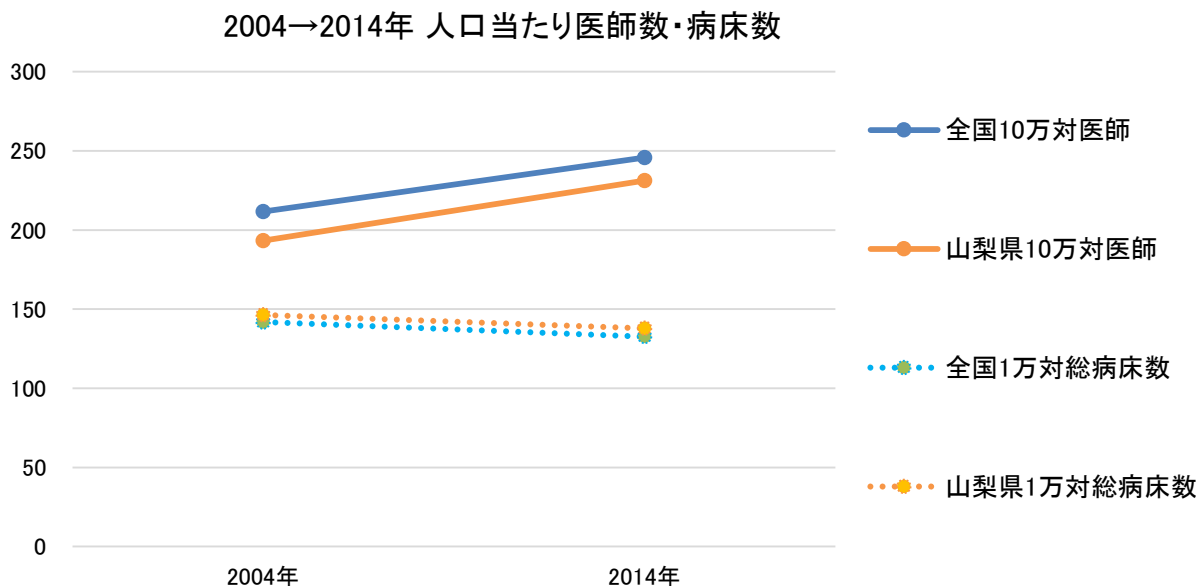
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が63(人口10万人当たり7.1病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に60(人口10万人当たり7.2病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が644(人口10万人当たり73診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2014年に688(人口10万人当たり82診療所(全国平均79)偏差値51)と、44診療所が増加した。

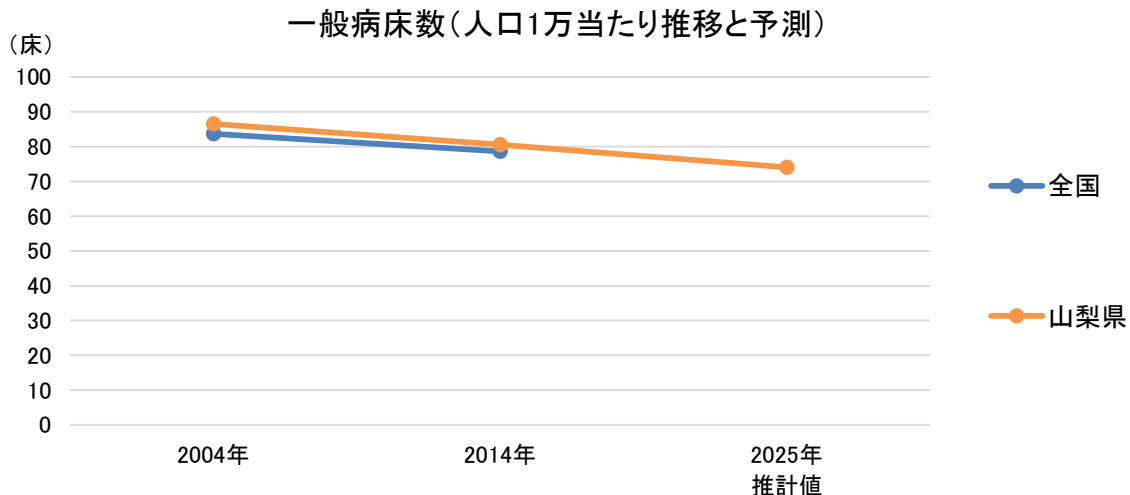
2004年の総病床数が12944床(人口1万人当たり146(全国平均142)偏差値51)であったが、2014年に11549床(人口1万人当たり138(全国平均133)偏差値51)と、1395床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1710人(人口10万人当たり193人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に1936人(人口10万人当たり231人(全国平均246人)偏差値49)と、226人の増加、率にして13%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



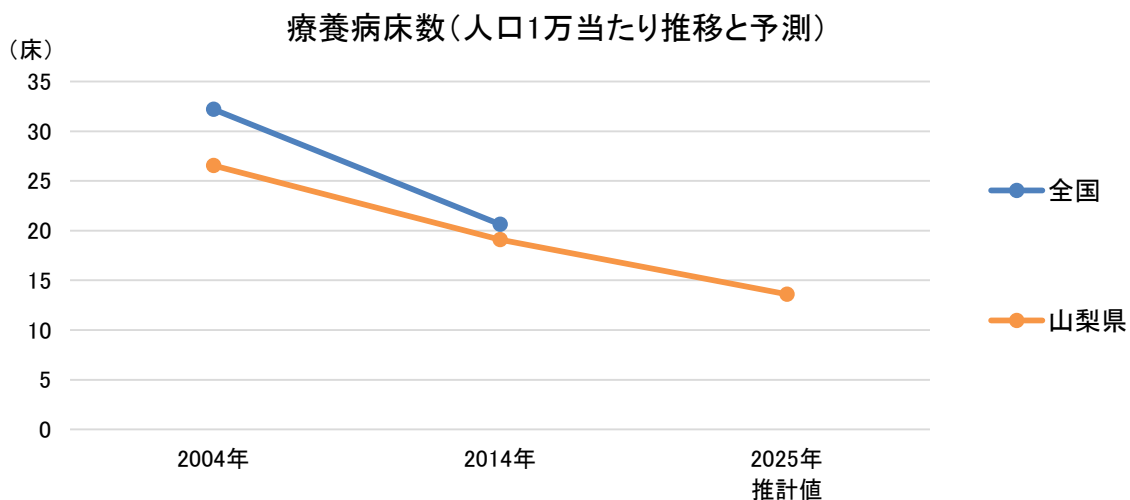
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7651床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に6744床(人口1万人当たり81(全国平均79)偏差値51)と、907床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5747床(2025年の推計人口1万人当たり74)になることが予想される。



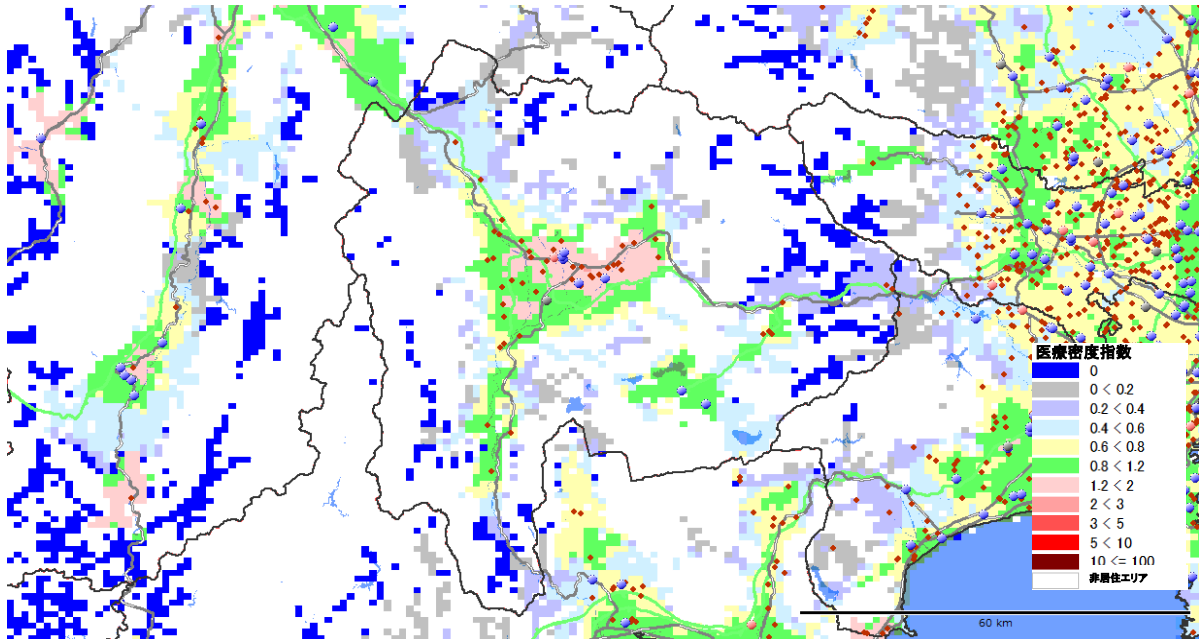
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2565床(75歳以上1000人当たり27(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に2306床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値49)と、259床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2022床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。

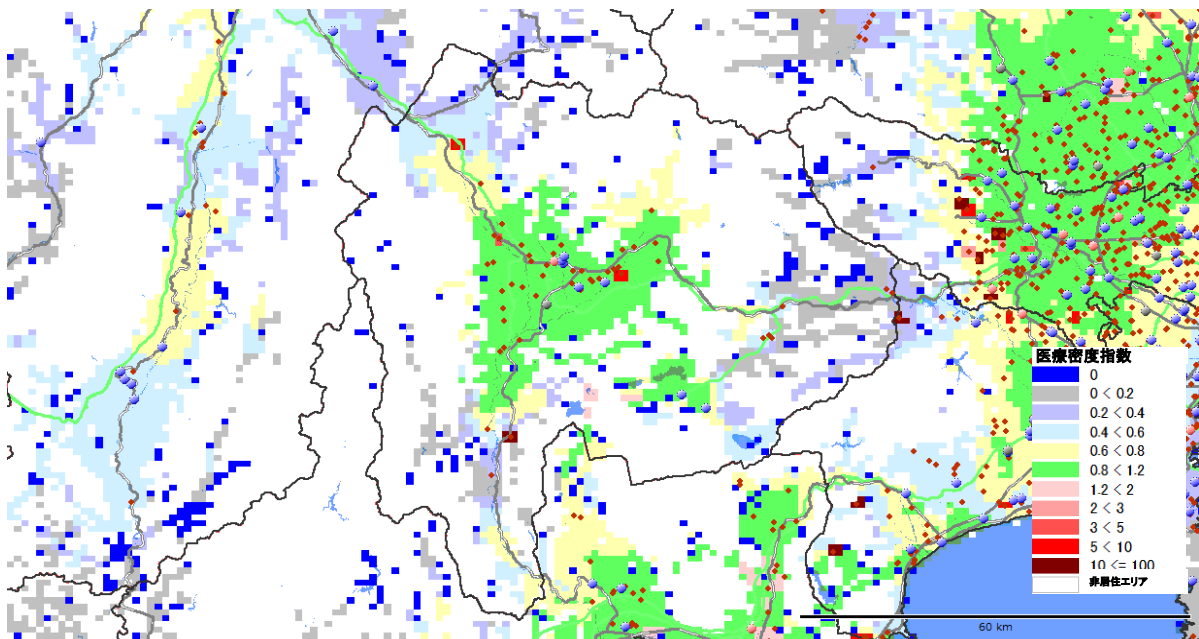


3. 医療密度⁵

図表19-1 急性期医療密度指数マップ



図表19-2 慢性期医療密度指数マップ



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

資_図表 19-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
山梨県	838	41位	4,461	32位	187.8		28%	776	666	121	149	155	-7%	-14%	23%	4%
中北	467	56%	1,336	30%	349.5	地方都市型	27%	443	393	62	81	85	-5%	-11%	31%	5%
峡東	136	16%	756	17%	179.6	過疎地域型	30%	123	103	21	26	26	-10%	-16%	24%	0%
峡南	53	6%	1,060	24%	50.5	過疎地域型	37%	45	34	12	12	11	-15%	-24%	0%	-8%
富士・東部	181	22%	1,309	29%	138.6	過疎地域型	28%	164	136	26	31	33	-9%	-17%	19%	6%
出典	<人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資_図表 19-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
山梨県	0.99	1.04	-43.8%	-49.7%
中北	1.13	1.32	-55.4%	-64.7%
峡東	1.18	1.25	-16.1%	-15.8%
峡南	0.68	0.60	-11.0%	-1.8%
富士・東部	0.61	0.86	-69.8%	-82.3%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。			

資_図表 19-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
山梨県	304	46	0.917	259	51
中北	299	45	0.951	255	50
峡東	307	47	0.972	268	54
峡南	343	56	1.003	315	67
富士・東部	300	46	0.962	237	45
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資_図表 19-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
山梨県	60	0.7%	7.2	51	688	0.7%	82	51
中北	32	53%	6.9	50	410	60%	88	54
峡東	14	23%	10.3	59	87	13%	64	42
峡南	6	10%	11.2	61	49	7%	92	56
富士・東部	8	13%	4.4	44	142	21%	78	49
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 19-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
山梨県	688	0.7%	82	51	643	0.7%	77	52	45	0.5%	5.4	48
中北	410	60%	88	54	380	59%	81	55	30	67%	6.4	50
峡東	87	13%	64	42	83	13%	61	44	4	9%	2.9	45
峡南	49	7%	92	56	48	7%	90	59	1	2%	1.9	43
富士・東部	142	21%	78	49	132	21%	73	50	10	22%	5.5	48
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

19. 山梨県（2016年版）

資_図表 19-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
山梨県	11,037	0.7%	1,318	52	512	0.5%	61	47	11,549	0.7%	1,379	51
中北	6,212	56%	1,330	52	339	66%	73	48	6,551	57%	1,403	51
峡東	2,608	24%	1,922	64	68	13%	50	46	2,676	23%	1,972	61
峡南	549	5%	1,027	46	8	2%	15	43	557	5%	1,042	45
富士・東部	1,668	15%	919	44	97	19%	53	47	1,765	15%	973	44
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 19-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
山梨県	6,292	0.7%	751	52	2,246	0.7%	268	50	2,421	0.7%	289	51
中北	3,592	57%	769	53	1,238	55%	265	50	1,344	56%	288	51
峡東	1,359	22%	1,001	63	686	31%	505	62	541	22%	399	56
峡南	395	6%	739	51	150	7%	281	51	0	0%	0	38
富士・東部	946	15%	521	42	172	8%	95	42	536	22%	295	51
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 19-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数⁸

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
山梨県	892	1.3%	107	61	361	1.0%	43	52
中北	253	28%	54	50	144	40%	31	49
峡東	639	72%	471	138	98	27%	72	58
峡南	0	0%	0	38	20	6%	37	51
富士・東部	0	0%	0	38	99	27%	55	54
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局（関東信越厚生局のみ7月公表分）。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

資_図表 19-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
山梨県	6,465	4,703	411	4,454	1,601	1,760	74.6%	59	18.9%	54
中北	3,784	2,806	168	2,342	792	1,015	78.0%	61	14.2%	52
峡東	962	639	60	1,628	720	626	47.0%	48	8.7%	50
峡南	414	354	56	134	40	94	89.8%	65	37.3%	62
富士・東部	1,305	904	127	350	49	25	94.9%	68	83.6%	82
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 19-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,226	(1,063)	1,022,592		807	(286)
山梨県	19,212	0.7%	2,294	51	6,288	0.6%	751	48
中北	14,388	75%	3,082	58	4,308	69%	923	54
峡東	2,100	11%	1,547	44	660	10%	486	39
峡南	492	3%	920	38	0	0%	0	22
富士・東部	2,232	12%	1,230	41	1,320	21%	728	47
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 19-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
山梨県	2,123	0.6%	253	48	1,351	0.6%	161	49	771	0.6%	92	47
中北	1,406	66%	301	53	922	68%	197	55	483	63%	104	50
峡東	300	14%	221	45	211	16%	156	48	89	12%	66	38
峡南	94	4%	175	40	55	4%	104	41	38	5%	71	40
富士・東部	323	15%	178	40	163	12%	90	39	161	21%	89	46
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

19. 山梨県 (2016年版)

資_図表 19-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
山梨県	95	0.6%	11.3	48	94	0.8%	11.2	53	69	0.7%	8.2	50
中北	65	68%	13.9	52	67	71%	14.3	60	48	70%	10.3	55
峡東	16	17%	11.8	49	13	14%	9.6	49	7	10%	5.2	42
峡南	2	2%	3.7	37	2	2%	3.7	37	0	0%	0	28
富士・東部	12	13%	6.6	41	12	13%	6.6	43	14	20%	7.7	49
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 19-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
山梨県	35	0.7%	4.2	50	65	0.7%	7.8	51	49	0.7%	5.9	50
中北	25	71%	5.4	56	46	71%	9.9	58	39	80%	8.4	59
峡東	7	20%	5.2	55	10	15%	7.4	50	6	12%	4.4	44
峡南	1	3%	1.9	39	2	3%	3.7	39	0	0%	0	27
富士・東部	2	6%	1.1	36	7	11%	3.9	39	4	8%	2.2	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 19-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
山梨県	54	0.7%	6.4	50	142	0.7%	17.0	51	113	0.7%	13.5	53
中北	44	81%	9.4	58	89	63%	19.1	54	77	68%	16.5	60
峡東	7	13%	5.2	46	20	14%	14.7	48	16	14%	11.8	49
峡南	0	0%	0	31	7	5%	13.1	46	2	2%	3.7	31
富士・東部	3	6%	1.7	36	26	18%	14.3	48	18	16%	9.9	45
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 19-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
山梨県	42	0.7%	5.0	52	52	0.8%	6.2	55	31	0.6%	3.7	48
中北	27	64%	5.8	56	35	67%	7.5	60	24	77%	5.1	53
峡東	6	14%	4.4	50	10	19%	7.4	60	4	13%	2.9	46
峡南	2	5%	3.7	46	0	0%	0	29	0	0%	0	36
富士・東部	7	17%	3.9	47	7	13%	3.9	45	3	10%	1.7	41
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 19-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
山梨県	38	0.6%	4.5	48	9	0.6%	1.1	48	16	0.5%	1.9	46
中北	29	76%	6.2	53	7	78%	1.5	53	12	75%	2.6	50
峡東	4	11%	2.9	43	2	22%	1.5	53	2	13%	1.5	43
峡南	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
富士・東部	5	13%	2.8	42	0	0%	0	37	2	13%	1.1	41
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 19-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
山梨県	10	0.5%	1.2	47	17	0.7%	2.0	51
中北	8	80%	1.7	51	10	59%	2.1	52
峡東	0	0%	0	37	7	41%	5.2	75
峡南	0	0%	0	37	0	0%	0	36
富士・東部	2	20%	1.1	46	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

19. 山梨県（2016年版）

資_図表 19-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
山梨県	6,873	0.6%	821	48	5,806	0.6%	693	49	1,066	0.5%	127	46
中北	4,102	60%	879	50	3,481	60%	746	51	621	58%	133	47
峡東	1,417	21%	1,044	56	1,256	22%	925	59	161	15%	119	45
峡南	328	5%	614	41	288	5%	538	43	41	4%	76	39
富士・東部	1,025	15%	565	39	782	13%	431	38	243	23%	134	47
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 19-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
山梨県	1,103	0.9%	132	57	1,637	0.6%	195	47
中北	466	42%	100	51	1,083	66%	232	50
峡東	542	49%	399	109	244	15%	180	45
峡南	34	3%	63	44	55	3%	103	37
富士・東部	61	6%	34	38	255	16%	141	41
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 19-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
山梨県	64	0.4%	0.5	42	6	0.5%	0.0	47	45	0.5%	0.4	38
中北	38	59%	0.6	44	2	33%	0.0	44	23	51%	0.4	38
峡東	16	25%	0.8	47	2	33%	0.1	54	8	18%	0.4	39
峡南	0	0%	0	31	2	33%	0.2	66	7	16%	0.6	51
富士・東部	10	16%	0.4	39	0	0%	0	39	7	16%	0.3	33
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資_図表 19-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員 (病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
山梨県	9,639	0.6%	80	38	7,058	0.7%	58	49	2,581	0.4%	21	38
中北	5,081	53%	81	39	3,528	50%	57	47	1,553	60%	25	40
峡東	2,058	21%	97	49	1,316	19%	62	52	742	29%	35	47
峡南	883	9%	77	37	813	12%	71	59	70	3%	6	28
富士・東部	1,617	17%	63	28	1,401	20%	54	46	216	8%	8	29
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 19-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
山梨県	2,819	0.8%	23	52	3,995	0.7%	33	49	244	0.4%	2.0	45
中北	1,415	50%	23	51	1,958	49%	31	48	155	64%	2.5	46
峡東	510	18%	24	54	788	20%	37	53	18	7%	0.8	42
峡南	324	11%	28	61	489	12%	43	59	0	0%	0	40
富士・東部	570	20%	22	50	760	19%	30	46	71	29%	2.8	47
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 19-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
山梨県	555	0.2%	4.6	41	0	0.0%	0	43	795	0.4%	6.6	41
中北	163	29%	2.6	39	0		0	43	531	67%	8.5	44
峡東	392	71%	18.5	55	0		0	43	150	19%	7.1	42
峡南	0	0%	0	37	0		0	43	42	5%	3.7	36
富士・東部	0	0%	0	37	0		0	43	72	9%	2.8	34
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

19. 山梨県 (2016年版)

資_図表 19-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
山梨県	1,231	0.6%	10.2	46	0	0.0%	0	45	1,231	0.6%	10.2	47
中北	859	70%	13.8	51	0		0	45	859	70%	13.8	53
峡東	200	16%	9.4	45	0		0	45	200	16%	9.4	46
峡南	28	2%	2.4	34	0		0	45	28	2%	2.4	35
富士・東部	144	12%	5.6	39	0		0	45	144	12%	5.6	40
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 19-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
山梨県	1,014	0.6%	8.4	44	746	0.6%	6.2	45	268	0.6%	2.2	46
中北	558	55%	8.9	47	377	51%	6.1	45	181	67%	2.9	54
峡東	180	18%	8.5	45	144	19%	6.8	48	36	13%	1.7	40
峡南	99	10%	8.6	45	79	11%	6.9	48	20	8%	1.8	41
富士・東部	177	17%	6.9	38	146	20%	5.7	43	31	12%	1.2	34
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 19-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
山梨県	9,603	0.6%	79	41	8,484	0.7%	70	45	1,119	0.5%	9.3	42
中北	5,102	53%	82	43	4,412	52%	71	45	690	62%	11.1	45
峡東	1,912	20%	90	50	1,747	21%	82	55	165	15%	7.8	39
峡南	919	10%	80	42	840	10%	73	47	79	7%	6.9	38
富士・東部	1,670	17%	65	29	1,485	18%	58	34	185	17%	7.2	38
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 19-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
山梨県	3,204	0.3%	27	37	2,052	0.5%	17	42	6,885	0.5%	57	39
中北	1,779	56%	29	38	1,148	56%	18	44	4,178	61%	67	42
峡東	884	28%	42	42	383	19%	18	43	1,105	16%	52	38
峡南	133	4%	12	32	152	7%	13	39	469	7%	41	34
富士・東部	408	13%	16	34	369	18%	14	40	1,133	16%	44	35
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 19-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
山梨県		884,515	837,525	-5%	775,908	-12%	6%	2%	8%
中北	地方都市型	476,572	466,914	-2%	443,143	-7%	10%	4%	15%
峡東	過疎地域型	146,319	135,720	-7%	123,472	-16%	4%	0%	4%
峡南	過疎地域型	63,466	53,463	-16%	45,139	-29%	-7%	-8%	-15%
富士・東部	過疎地域型	198,158	181,428	-8%	164,154	-17%	4%	0%	4%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,居間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 19-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
山梨県	63	7.1	50	60	7.2	51	-3	-5%	57
中北	35	7.3	51	32	6.9	50	-3	-9%	29
峡東	14	9.6	56	14	10.3	59	0	0%	14
峡南	6	9.5	56	6	11.2	61	0	0%	6
富士・東部	8	4.0	42	8	4.4	44	0	0%	8
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

19. 山梨県 (2016年版)

資_図表 19-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
山梨県	644	73	48	688	82	51	44	7%	737
中北	394	83	53	410	88	54	16	4%	428
峡東	72	49	37	87	64	42	15	21%	104
峡南	49	77	51	49	92	56	0	0%	49
富士・東部	129	65	45	142	78	49	13	10%	156
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 19-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
山梨県	1,710	193	48	1,936	231	49	226	13%	2,186
中北	1,149	241	54	1,334	286	54	185	16%	1,538
峡東	236	161	44	264	195	45	28	12%	295
峡南	77	121	39	65	122	37	-12	-16%	52
富士・東部	248	125	40	273	150	40	25	10%	301
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 19-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
山梨県	12,944	146	51	11,549	138	51	-1,395	-11%	10,015
中北	7,601	159	53	6,551	140	51	-1,050	-14%	5,396
峡東	2,781	190	59	2,676	197	61	-105	-4%	2,561
峡南	590	93	41	557	104	45	-33	-6%	521
富士・東部	1,972	100	42	1,765	97	44	-207	-10%	1,537
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 19-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
山梨県	7,651	86	51	6,744	81	51	-907	-12%	5,747	74
中北	4,582	96	54	3,889	83	52	-693	-15%	3,127	71
峡東	1,403	96	54	1,409	104	59	6	0%	1,416	115
峡南	436	69	45	403	75	49	-33	-8%	367	81
富士・東部	1,230	62	42	1,043	57	42	-187	-15%	837	51
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 19-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
山梨県	2,565	27	47	2,306	19	49	-259	-10%	2,022	14
中北	1,404	30	48	1,280	21	50	-124	-9%	1,144	14
峡東	815	46	58	704	33	61	-111	-14%	582	23
峡南	150	13	39	150	13	43	0	0%	150	13
富士・東部	196	10	37	172	7	38	-24	-12%	146	5
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

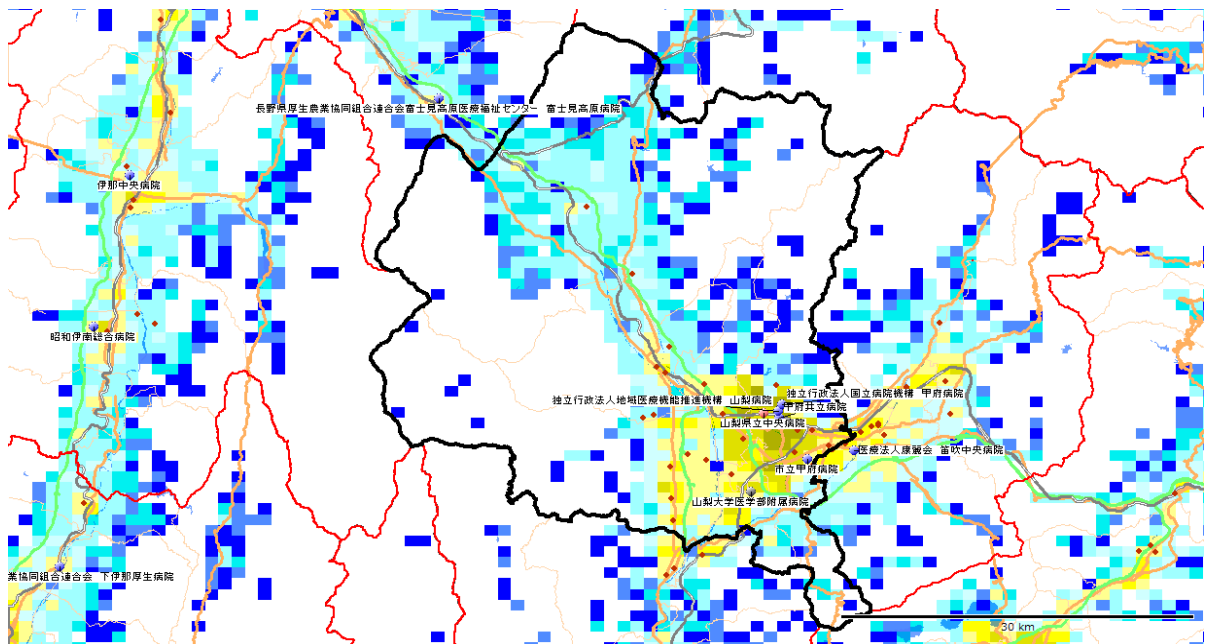
資_図表 19-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人あたり実績医療費⁹

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
山梨県	315	47	0.967	117	47	0.938	175	49	0.994
中北	308	45	0.950	111	45	0.886	175	49	0.999
峡東	320	48	0.986	124	49	0.986	173	48	0.988
峡南	366	59	1.045	146	57	1.076	198	62	1.044
富士・東部	310	46	0.962	120	48	0.969	168	45	0.969
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

19-1. ちゅうほく 中北医療圏

構成市区町村¹⁰ [甲府市](#) [甲斐市](#) [斐崎市](#) [中央市](#) [南アルプス市](#) [昭和町](#) [北杜市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(中北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中北(甲府市)は、総人口約467千人(2015年推計)、面積1336km²、人口密度は349人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中北の総人口は2025年に443千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に393千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の62千人が、2025年にかけて81千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には85千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中北の一人当たり医療費(国保)は299千円(偏差値45)、介護給付費は255千円(偏差値50)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中北の一人当たり急性期医療密度指数²は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.32で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が53(病院医師数55、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は58と多い。中北には、年間全身麻酔件数が2000例以上の山梨大学医学部附属病院(I群)、山梨県立中央病院(II群・救命)、1000例以上の市立甲府病院(III群)、500例以上の国立病院機構甲府病院(III群)、JCHO山梨病院(III群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5081人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3528床(偏差値47)、高齢者住宅等が1553床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4412人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住51である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、690人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-65%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

中北医療圏の総人口は、2005年476572人が、2015年に466914人と2%減少し、2025年の人口が443143人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

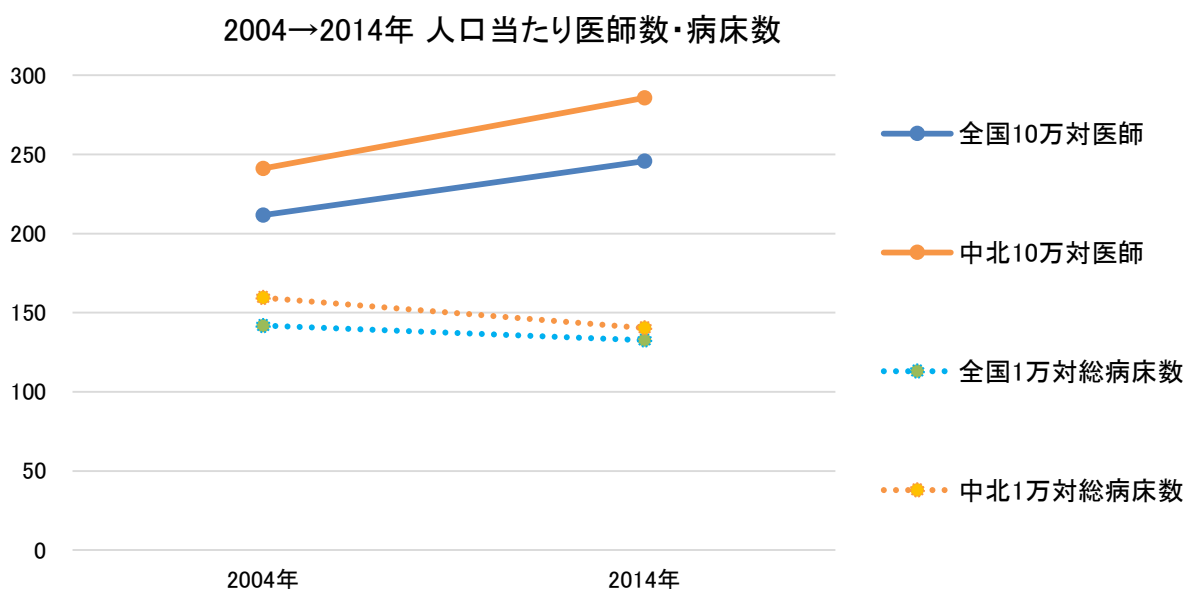
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が35(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2014年に32(人口10万人当たり6.9病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が394(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に410(人口10万人当たり88診療所(全国平均79)偏差値54)と、16診療所が増加した。

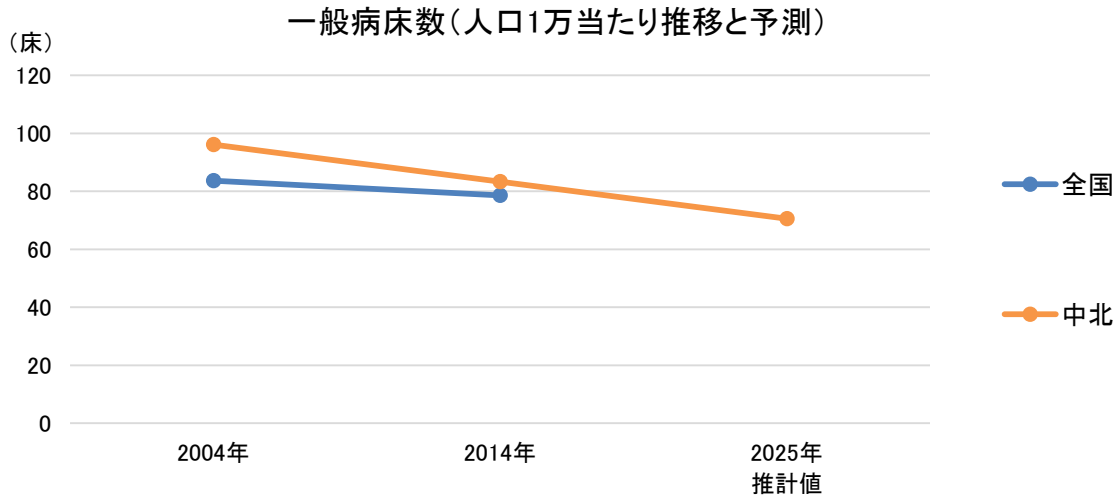
2004年の総病床数が7601床(人口1万人当たり159(全国平均142)偏差値53)であったが、2014年に6551床(人口1万人当たり140(全国平均133)偏差値51)と、1050床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1149人(人口10万人当たり241人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2014年に1334人(人口10万人当たり286人(全国平均246人)偏差値54)と、185人の増加、率にして16%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



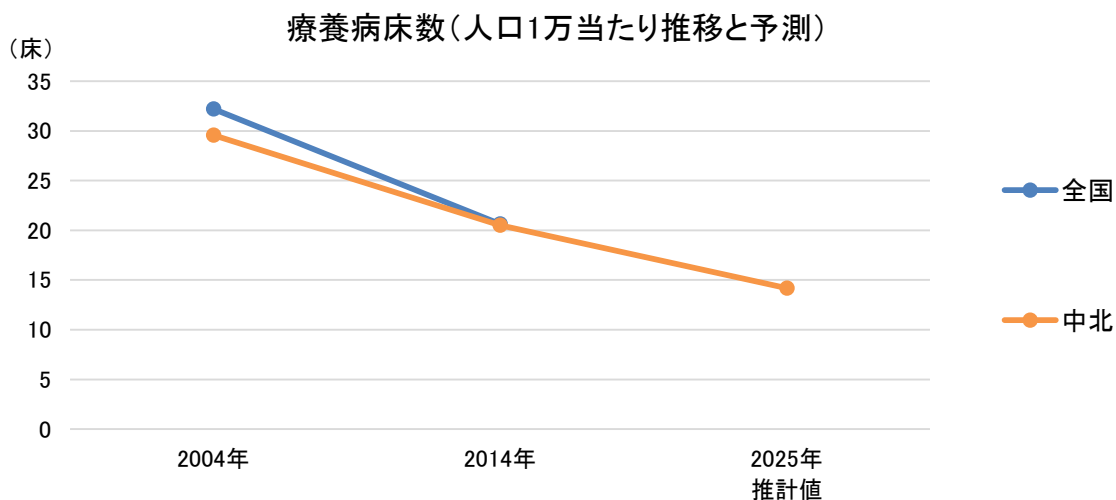
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4582床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に3889床(人口1万人当たり83(全国平均79)偏差値52)と、693床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3127床(2025年の推計人口1万人当たり71)になることが予想される。



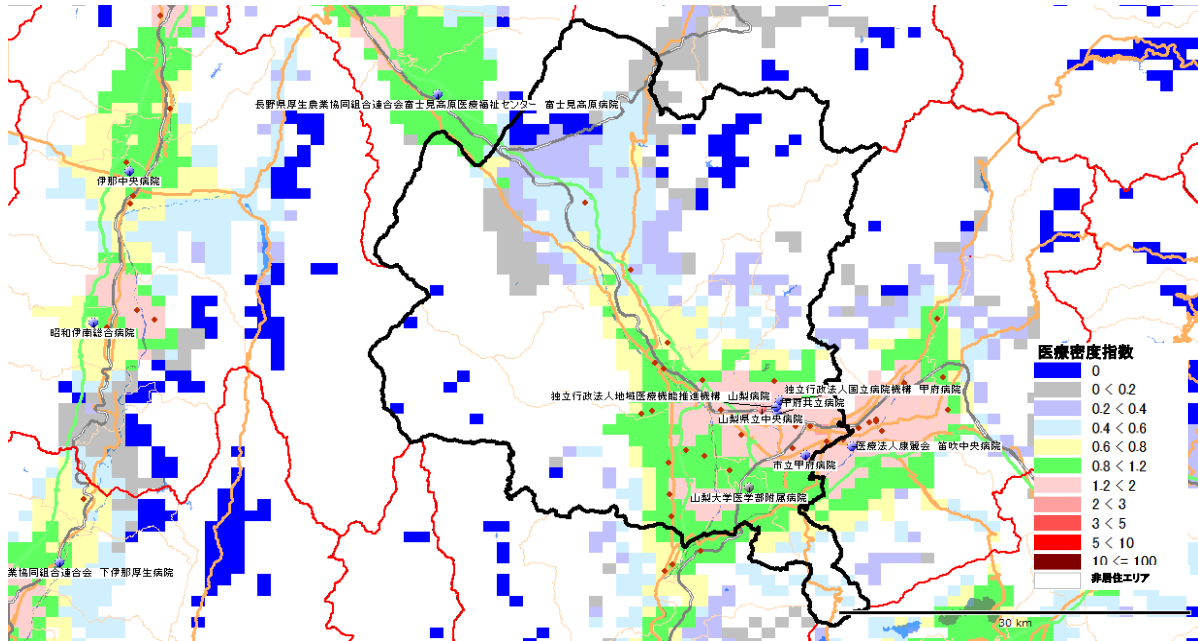
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1404床(75歳以上1000人当たり30(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に1280床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値50)と、124床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1144床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。

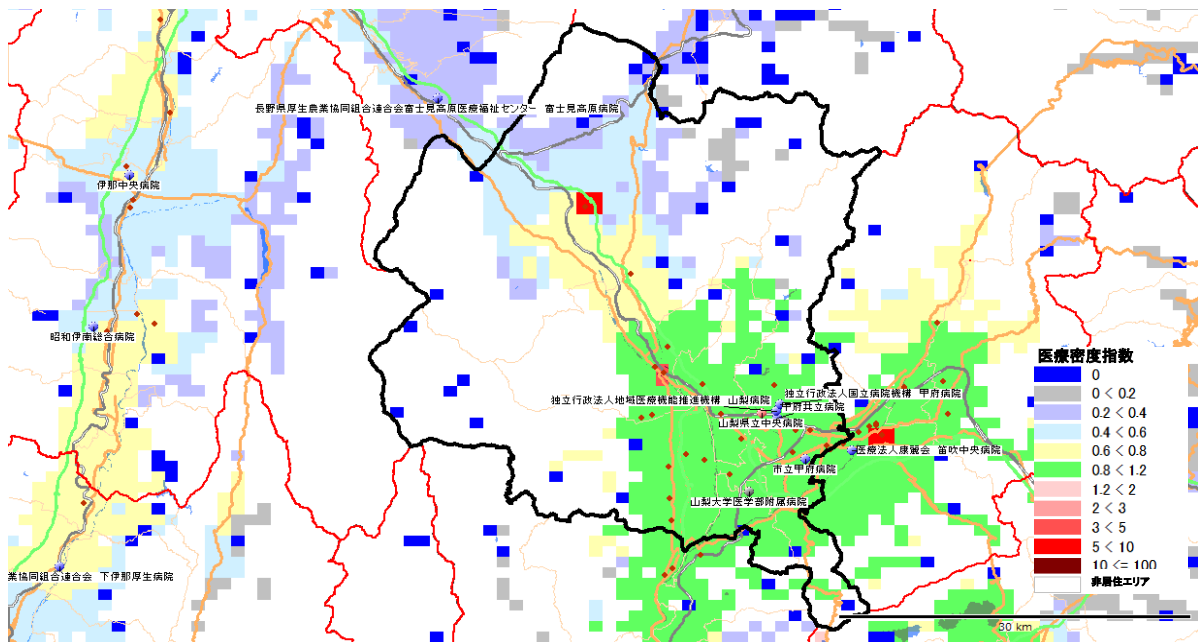


3. 医療密度⁵

図表19-1-1 急性期医療密度指数マップ



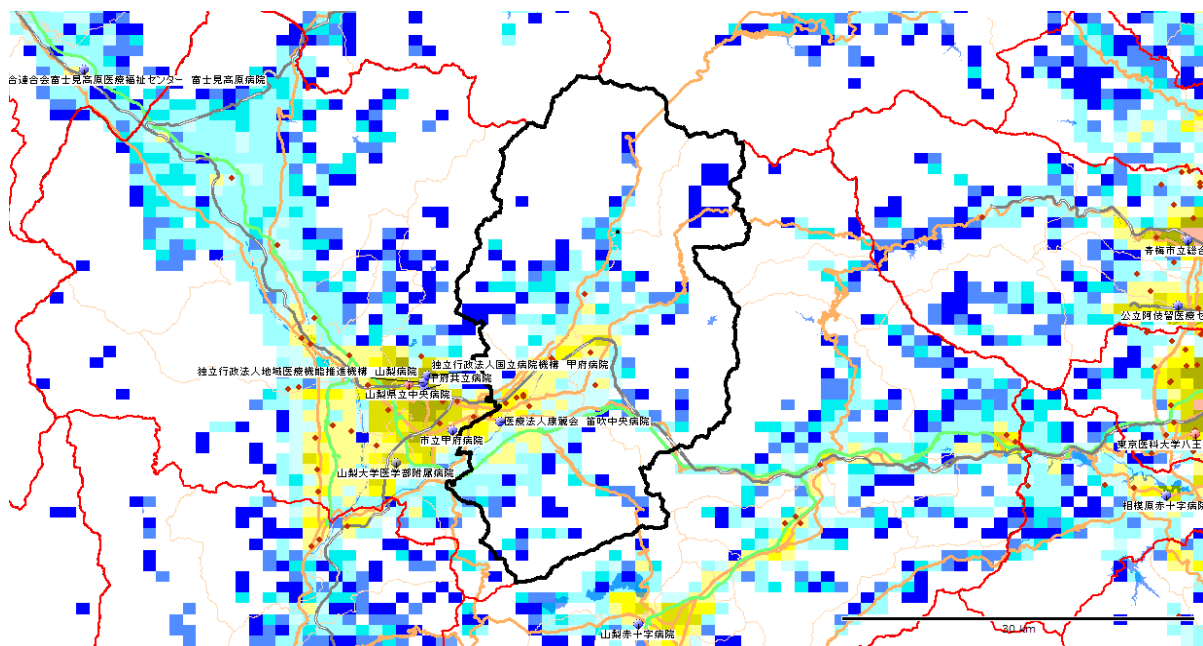
図表19-1-2 慢性期医療密度指数マップ



19-2. きょうとう 峡東医療圏

構成市区町村¹⁰ [山梨市](#) [笛吹市](#) [甲州市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（峡東医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 峡東(山梨市)は、総人口約136千人(2015年推計)、面積756km²、人口密度は180人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 峡東の総人口は2025年に123千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に103千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の21千人が、2025年にかけて26千人へと増加し(2015年比+24%)、2040年には26千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 峡東の一人当たり医療費(国保)は307千円(偏差値47)、介護給付費は268千円(偏差値54)であり、医療費はやや低いが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 峡東の一人当たり急性期医療密度指数²は1.18、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.25で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が45(病院医師数48、診療所医師数38)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は56と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。峡東には、年間全身麻酔件数が500例以上の山梨厚生病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値109と非常に多く、回復期病床数は偏差値138と非常に多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 峡東の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2058人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1316床(偏差値52)、高齢者住宅等が742床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1747人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム55、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム42、サ高住45である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、165人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-16%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

峡東医療圏の総人口は、2005年146319人が、2015年に135720人と7%減少し、2025年の人口が123472人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

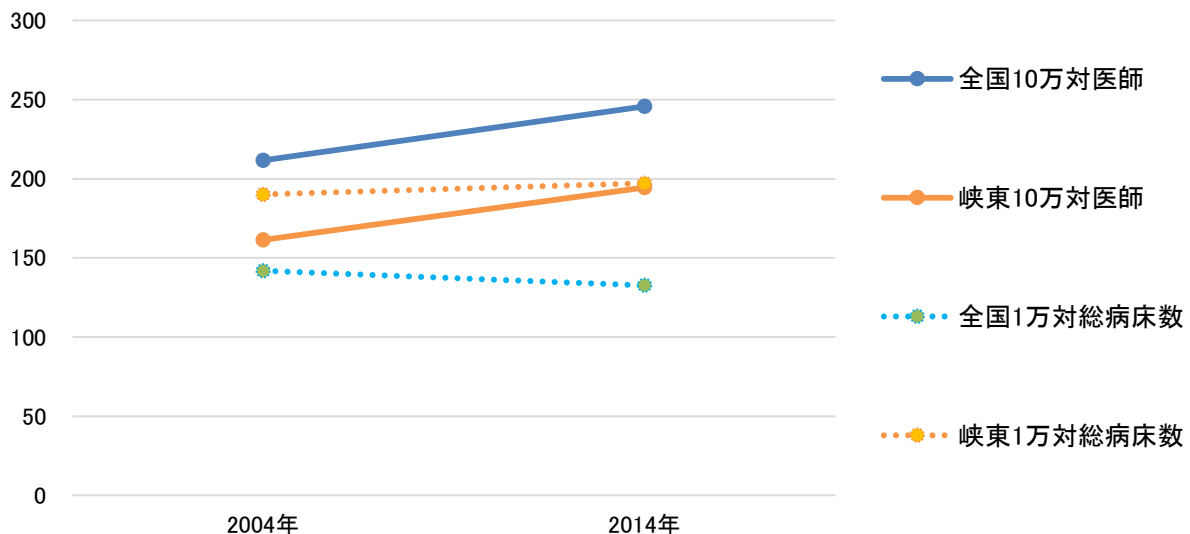
2004年の病院数が14(人口10万人当たり9.6病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に14(人口10万人当たり10.3病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が72(人口10万人当たり49診療所(全国平均76)偏差値37)であったが、2014年に87(人口10万人当たり64診療所(全国平均79)偏差値42)と、15診療所が増加した。

2004年の総病床数が2781床(人口1万人当たり190(全国平均142)偏差値59)であったが、2014年に2676床(人口1万人当たり197(全国平均133)偏差値61)と、105床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が236人(人口10万人当たり161人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に264人(人口10万人当たり195人(全国平均246人)偏差値45)と、28人の増加、率にして12%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

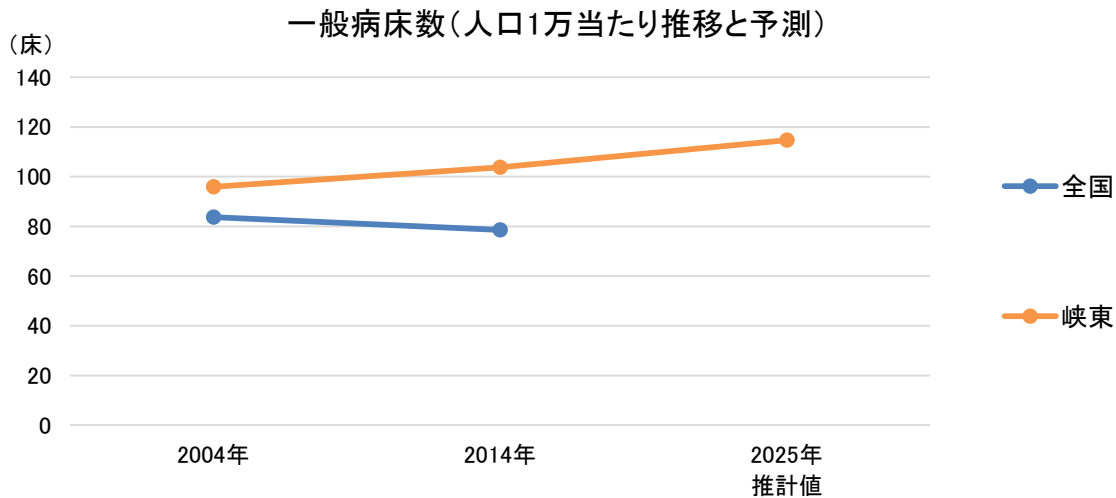
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



19. 山梨県（2016年版）

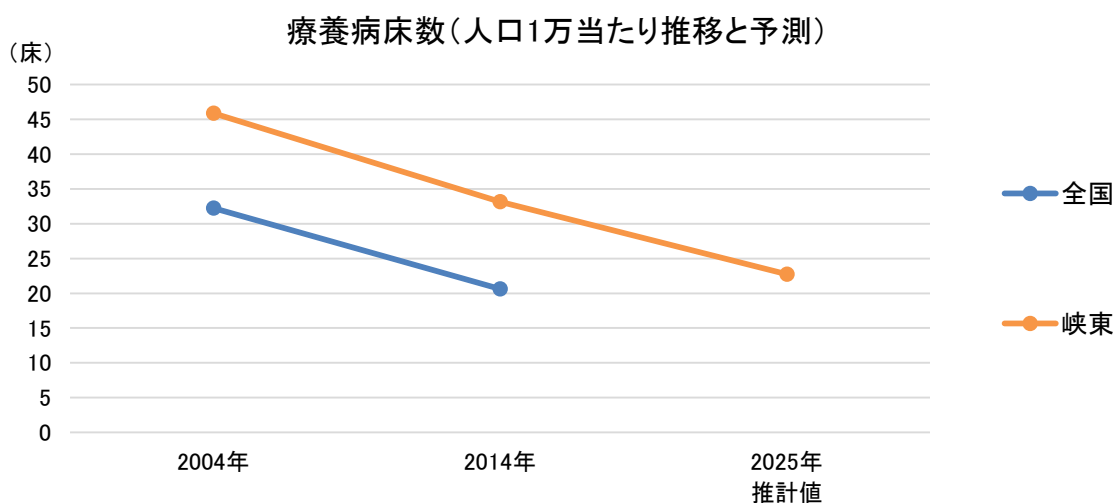
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1403床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に1409床(人口1万人当たり104(全国平均79)偏差値59)と、6床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1416床(2025年の推計人口1万人当たり115)になることが予想される。



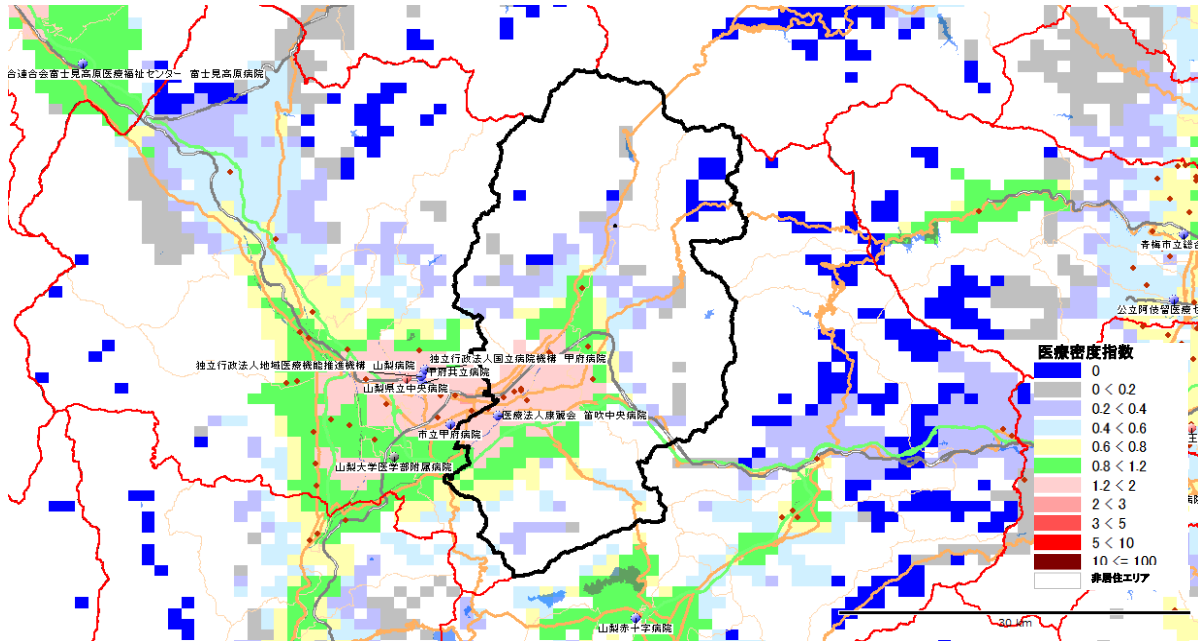
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が815床(75歳以上1000人当たり46(全国平均32)偏差値58)であったが、2014年に704床(75歳以上1000人当たり33(全国平均21)偏差値61)と、111床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には582床(2025年の推計75歳以上1000人当たり23)になることが予想される。

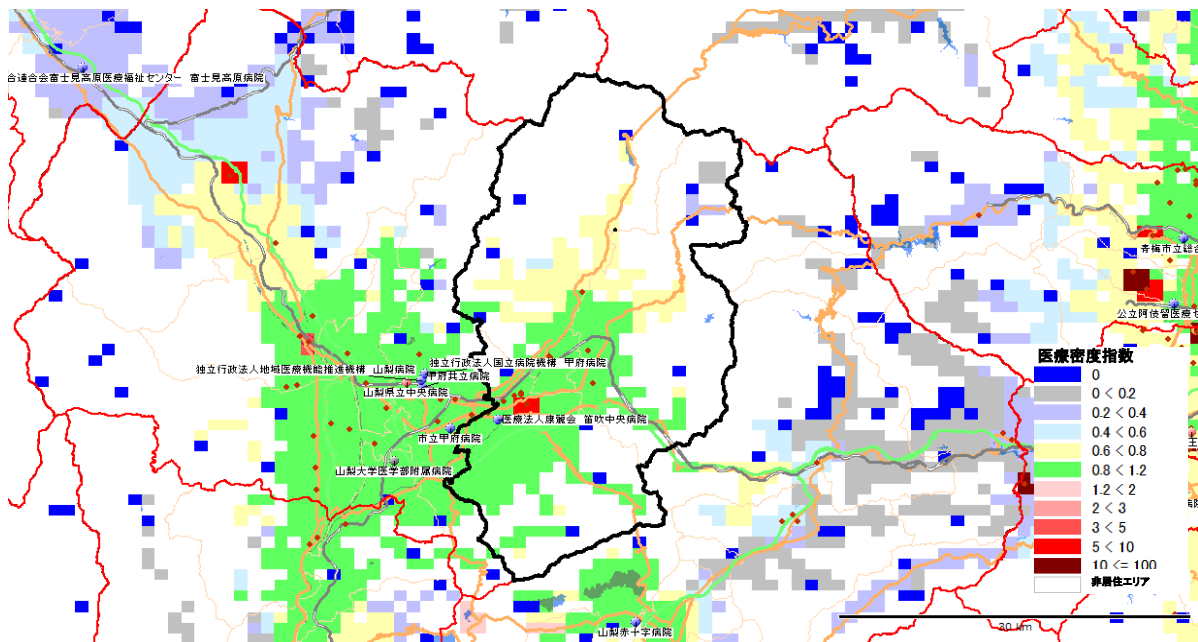


3. 医療密度⁵

図表19-2-1 急性期医療密度指数マップ



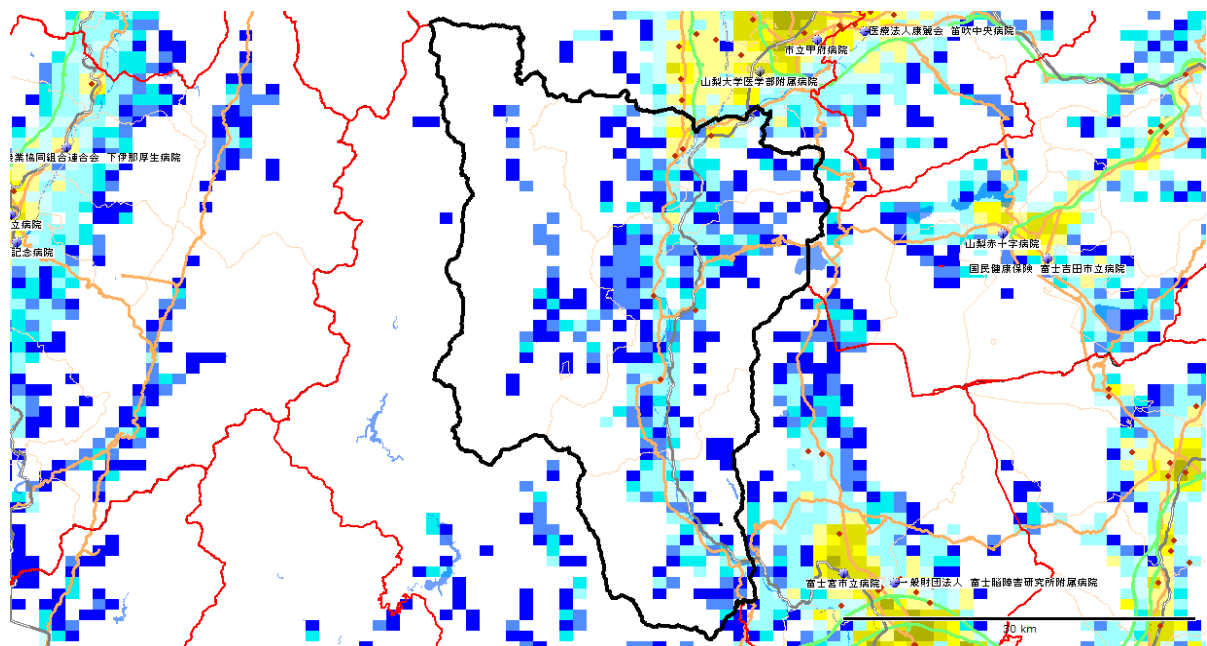
図表19-2-2 慢性期医療密度指数マップ



19-3. きょうなん 峡南医療圏

構成市区町村¹⁰ [市川三郷町](#) [早川町](#) [身延町](#) [南部町](#)
[富士川町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(峡南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 峡南(西八代郡市川三郷町、南巨摩郡早川町、南)は、総人口約53千人(2015年推計)、面積1060km²、人口密度は50人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 峡南の総人口は2025年に45千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に34千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の12千人が、2025年にかけて12千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には11千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 峡南の一人当たり医療費(国保)は343千円(偏差値56)、介護給付費は315千円(偏差値67)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 峡南の一人当たり急性期医療密度指数²は0.68、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.6で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数41、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は41と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。峡南には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 峡南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、883人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が813床(偏差値59)、高齢者住宅等が70床(偏差値28)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、840人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム36、サ高住34である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院は偏差値66と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、79人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-2%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

峡南医療圏の総人口は、2005年63466人が、2015年に53463人と16%減少し、2025年の人口が45139人と予測され、2005年→2025年の間に29%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に7%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

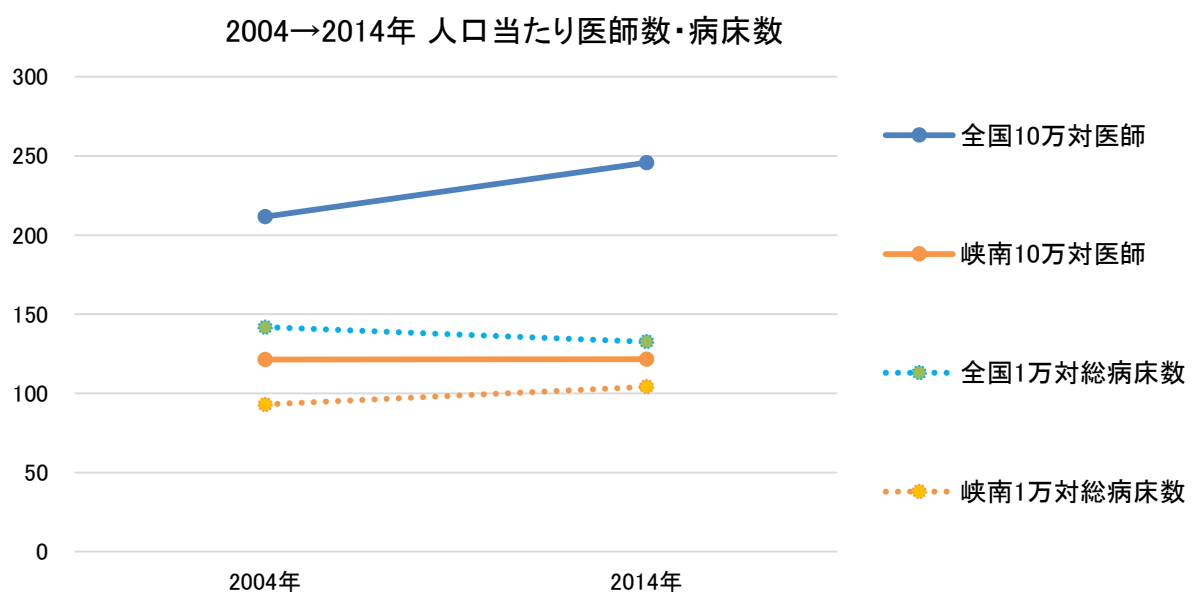
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり9.5病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に6(人口10万人当たり11.2病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が49(人口10万人当たり77診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2014年に49(人口10万人当たり92診療所(全国平均79)偏差値56)と、増減がなかった。

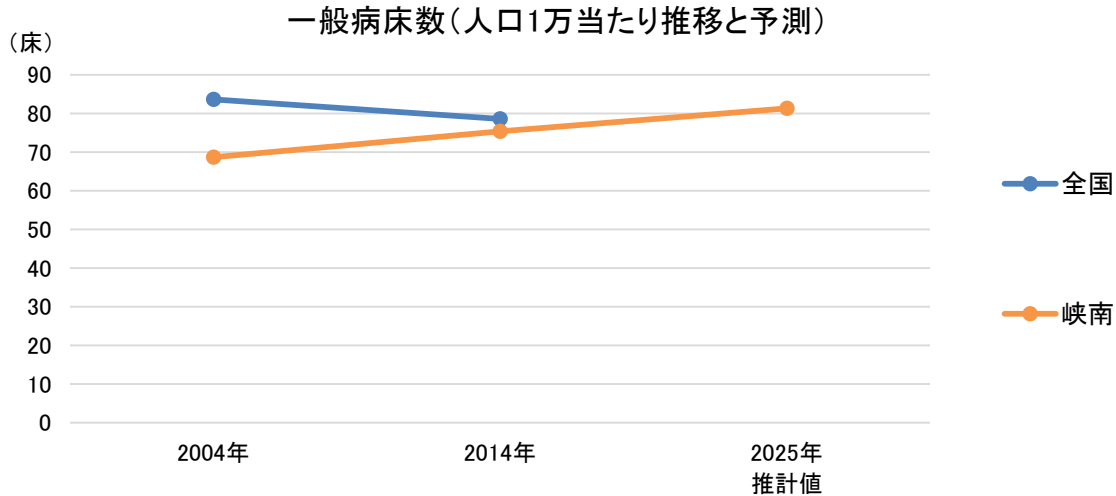
2004年の総病床数が590床(人口1万人当たり93(全国平均142)偏差値41)であったが、2014年に557床(人口1万人当たり104(全国平均133)偏差値45)と、33床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が77人(人口10万人当たり121人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に65人(人口10万人当たり122人(全国平均246人)偏差値37)と、12人の減少、率にして16%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



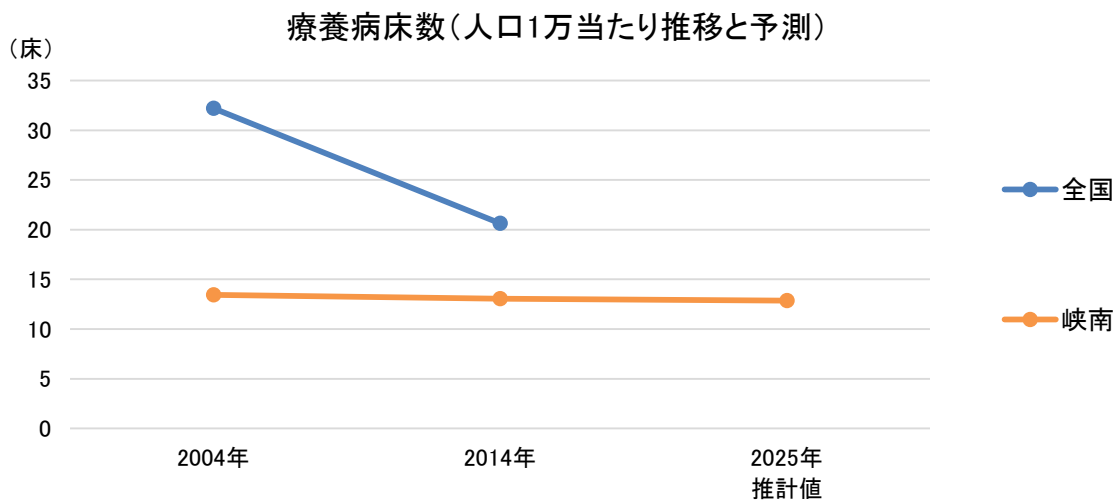
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が436床(人口1万人当たり69(全国平均84)偏差値45)であったが、2014年に403床(人口1万人当たり75(全国平均79)偏差値49)と、33床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には367床(2025年の推計人口1万人当たり81)になることが予想される。



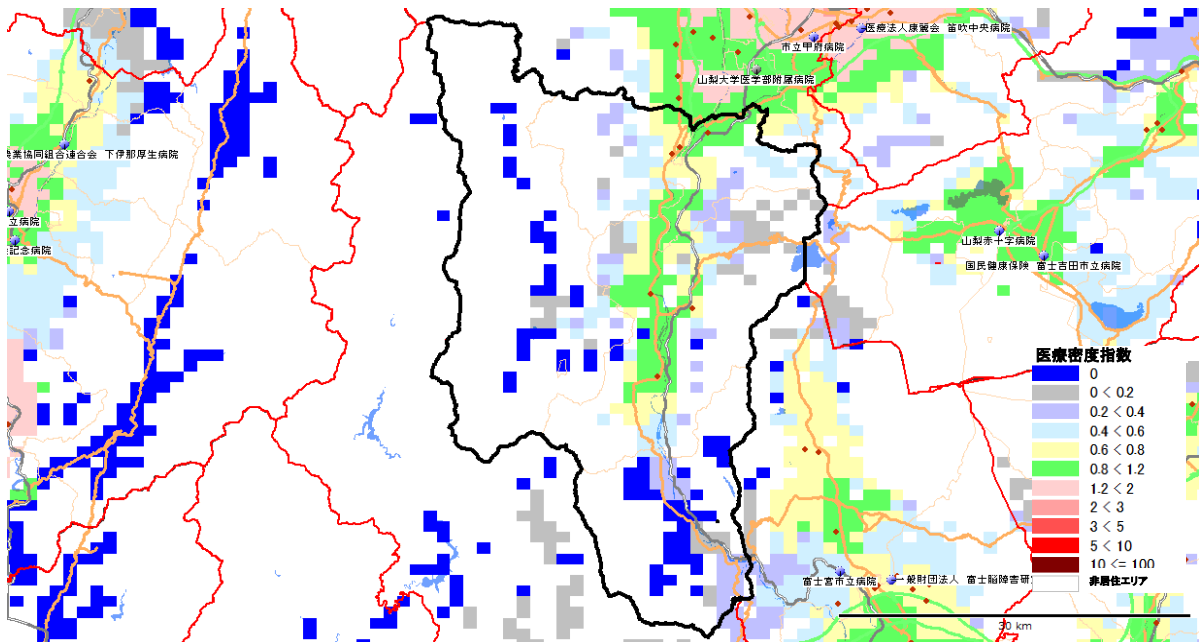
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が150床(75歳以上1000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に150床(75歳以上1000人当たり13(全国平均21)偏差値43)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。この調子で増減なしが続くとすると2025年には150床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。

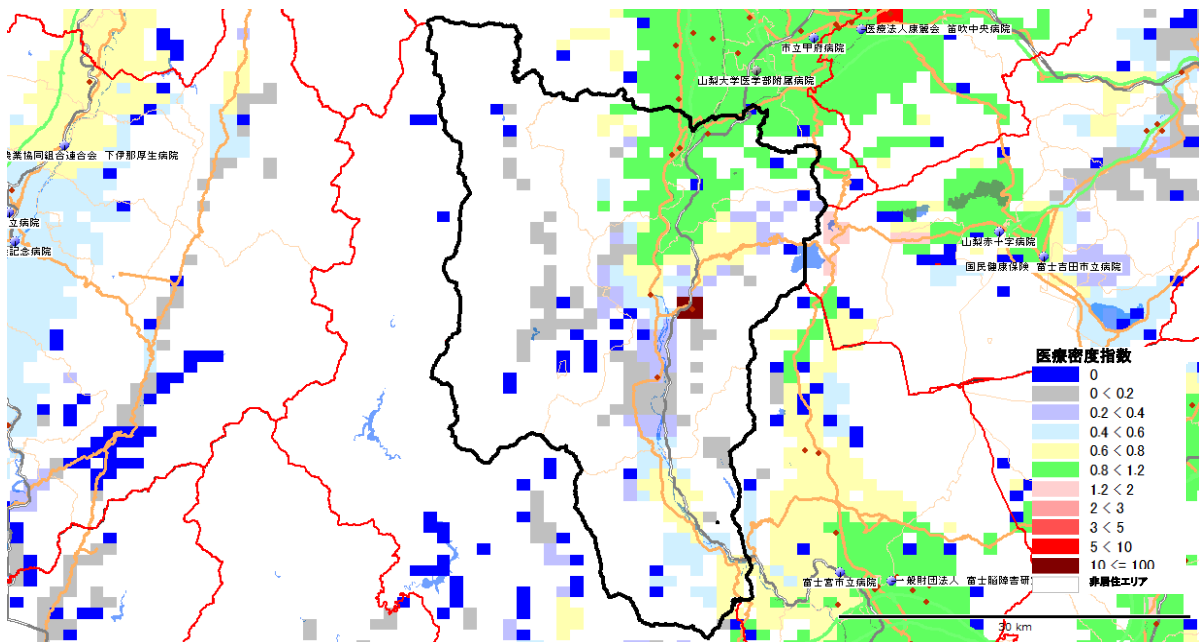


3. 医療密度⁵

図表19-3-1 急性期医療密度指数マップ



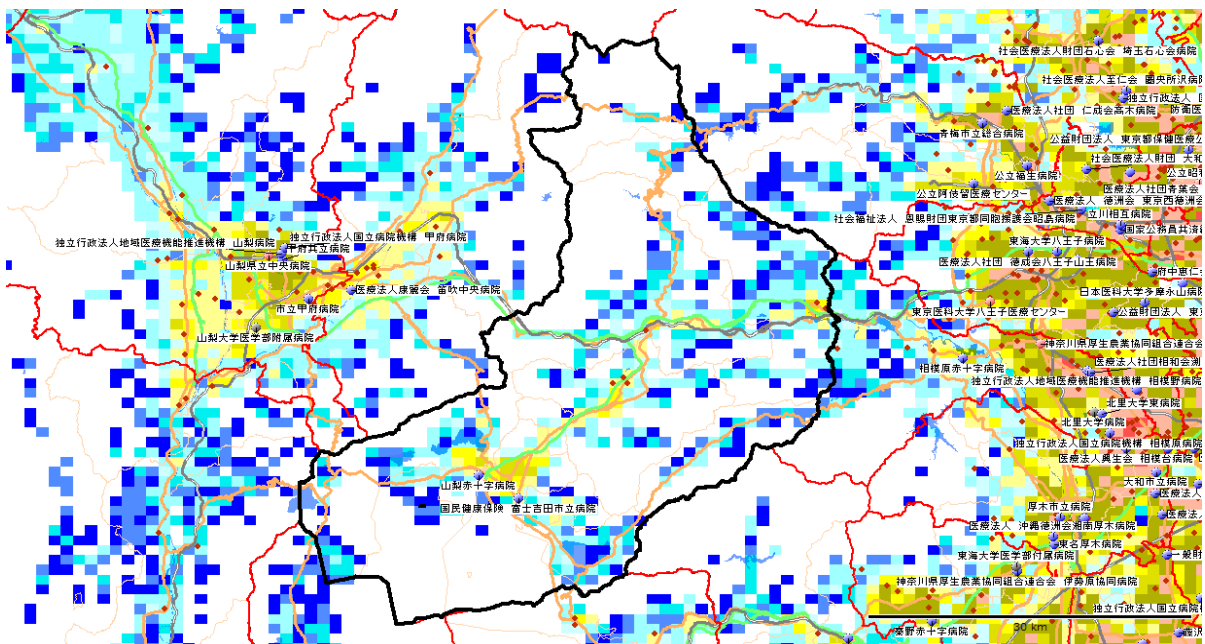
図表19-3-2 慢性期医療密度指数マップ



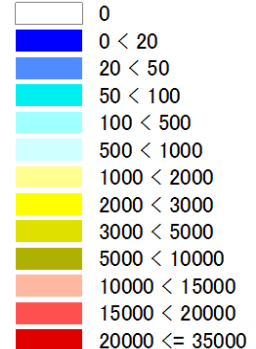
19-4. ふ じ と う ぶ 富士・東部医療圏

構成市区町村¹⁰ [富士吉田市](#) [都留市](#) [大月市](#) [上野原市](#)
[道志村](#) [西桂町](#) [忍野村](#) [山中湖村](#)
[鳴沢村](#) [富士河口湖町](#) [小菅村](#) [丹波山村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（富士・東部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 富士・東部(富士吉田市)は、総人口約181千人(2015年推計)、面積1309km²、人口密度は139人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 富士・東部の総人口は2025年に164千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に136千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の26千人が、2025年にかけて31千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には33千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 富士・東部の一人当たり医療費(国保)は300千円(偏差値46)、介護給付費は237千円(偏差値45)であり、医療費、介護給付費ともにやや低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 富士・東部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.61、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.86で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が40(病院医師数39、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は39と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。富士・東部には、年間全身麻酔件数が500例以上の山梨赤十字病院(Ⅲ群)、富士吉田市立病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値38と少なく、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 富士・東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1617人(75歳以上1000人当たりの偏差値28)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1401床(偏差値46)、高齢者住宅等が216床(偏差値29)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1485人(75歳以上1000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設47、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム34、サ高住39である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値33と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、185人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-82%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

富士・東部医療圏の総人口は、2005年198158人が、2015年に181428人と8%減少し、2025年の人口が164154人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

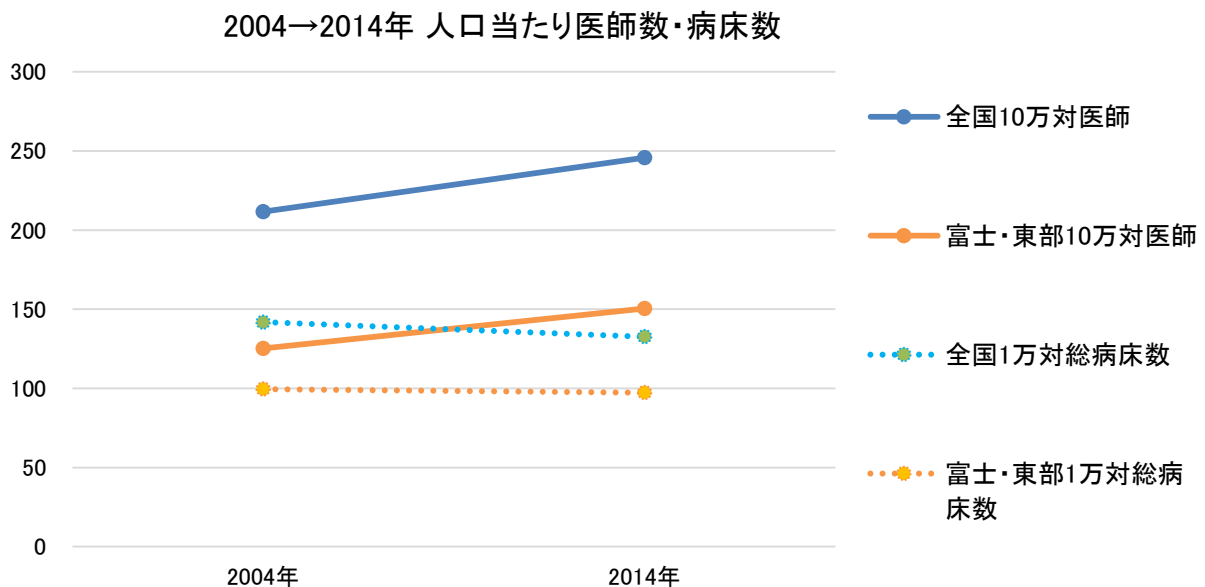
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が8(人口10万人当たり4病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2014年に8(人口10万人当たり4.4病院(全国平均6.7)偏差値44)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が129(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に142(人口10万人当たり78診療所(全国平均79)偏差値49)と、13診療所が増加した。

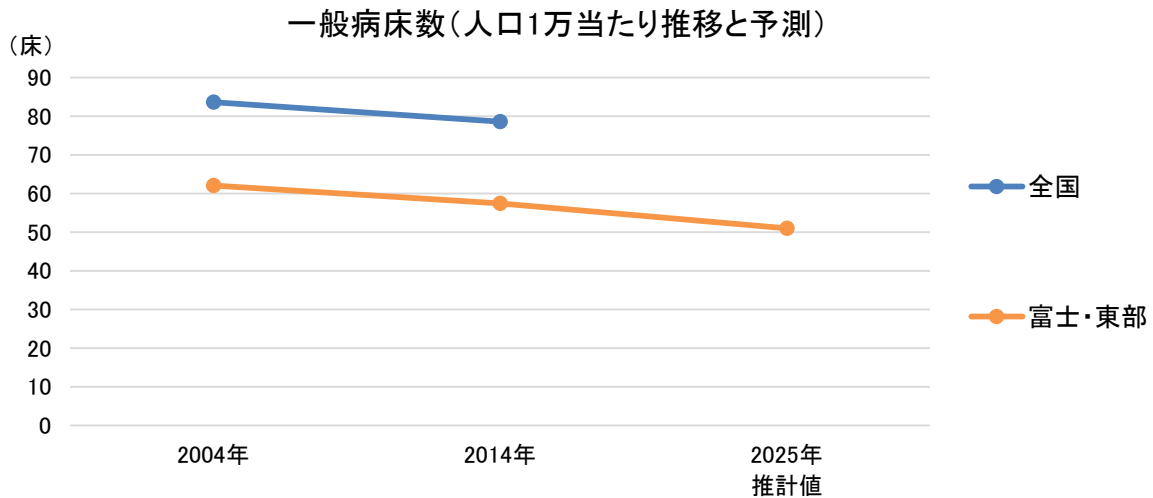
2004年の総病床数が1972床(人口1万人当たり100(全国平均142)偏差値42)であったが、2014年に1765床(人口1万人当たり97(全国平均133)偏差値44)と、207床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が248人(人口10万人当たり125人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に273人(人口10万人当たり150人(全国平均246人)偏差値40)と、25人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



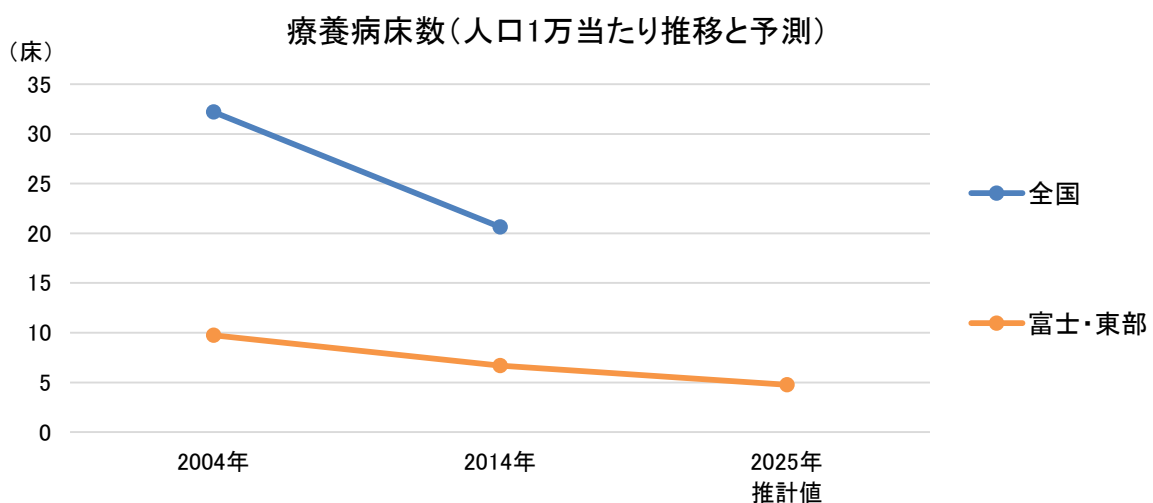
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1230床(人口1万人当たり62(全国平均84)偏差値42)であったが、2014年に1043床(人口1万人当たり57(全国平均79)偏差値42)と、187床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には837床(2025年の推計人口1万人当たり51)になることが予想される。



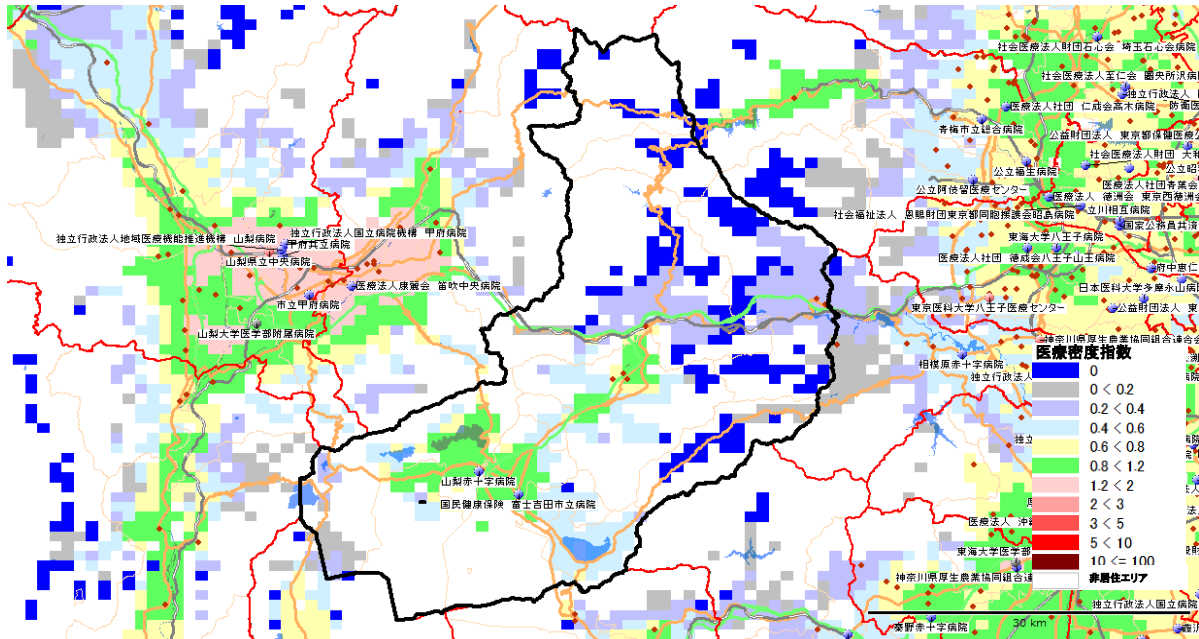
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が196床(75歳以上1000人当たり10(全国平均32)偏差値37)であったが、2014年に172床(75歳以上1000人当たり7(全国平均21)偏差値38)と、24床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には146床(2025年の推計75歳以上1000人当たり5)になることが予想される。

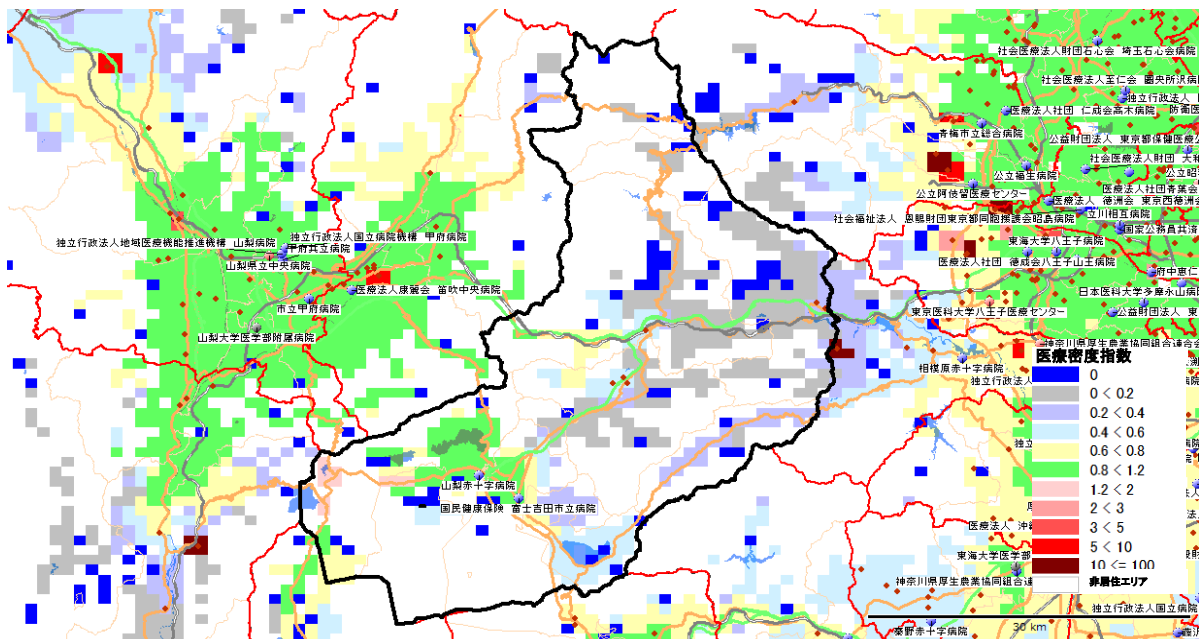


3. 医療密度⁵

図表19-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表19-4-2 慢性期医療密度指数マップ



19. 山梨県（2016年版）

注

¹1km²区画（1km²メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/km²以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/km²）、青色系統は人口が少ない（1,000人/km²未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療（急性期及び慢性期）を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数（平成26年病院報告（厚生労働省 平成26年10月））と診療所医師数（平成26年医療施設調査（厚生労働省 平成26年10月））の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省 平成26年12月）に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均（99.3床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no. 352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集（2015年度版）を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は除いて計算している。

⁹市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

¹⁰日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。